

標記について下記のとおり報告します。

報告者 部会長 竹内 仁

日 時	2016 年 12 月 7 日 (水)
場 所	城陽市福祉センター 2 階 会議室
出 席 者	: あんびしゃ (2 名)、魁 (1 名)、はびねず (1 名)、あつぷ (1 名)、城陽作業所 (1 名)、野の花 (1 名)、みんななかま (3 名)、福祉課 (1 名)、自立支援協議会事務局 (1 名) (参加者数: 12 名)
欠 席 者	: ナプラス (2 名)、庭一造園 (1 名)、DIVE (1 名)、宇治支援学校 (1 名)、就労促進授産支援ネットワーク (1 名)
検討課題	1. インターンシップ受け入れ企業獲得のための案内パンフレット、配布方法と役割分担の提案、2. 各事業所の就労の取り組み発表、3. その他 (他の障がい者自立支援協議会状況、情勢の共有、連絡事項 等)

【議事録】

1. インターンシップ受け入れ企業獲得のための案内パンフレット、配布方法と役割分担の提案

- ・パンフレットを配る範囲について、今年度は、地元 (城陽市) の企業に配布するということで進めていきたい。企業については、ナプラスさんとの連携で中小企業家同友会関係企業から紹介をしてもらいたいと考えている。
- ・受け入れ体制については、来年度に随時整えていき、あわせて配布範囲も拡げていく。

【意見交換】

- ・インターンシップ案内パンフレットを設置した「はあとウォームフォーラム」(2016/11/11) では 17 部、持って帰っていただいた。
- ・当面、城陽市内の企業中心に配布をするので、案内パンフレットの印刷は 100 部。
- ・100 部なら庁舎内の印刷で対応できる、特別な手立てはいらない。印刷枚数が増えると、外注になる。
- ・ナプラスさんと連携して城陽市内の中小企業家同友会関係企業を紹介していただき、2 月をメドに訪問できるようにしたい。
- ・訪問は基本、ペアで行いたい。次回の就労部会で訪問企業とペアについて提案。あわせて、訪問マニュアルも提案する。
- ・マニュアルの内容、自立支援協議会の説明、自己紹介、インターンシップの目的 等。城陽市の広報に載った記事を見せると理解が深まると思う。中小企業家同友会の方にも聞いて、作成した方が良くと思う。
- ・パンフレット、市として何ヶ所か訂正してほしいところがあるので、魁さんと連携して進めていく。
- ・就労部会参加事業所へ、インターンシップ希望アンケートをとっていく。
- ・年齢と性別は記入してもらった方が良い。
- ・本人特定が出来ない程度の配慮事項を、別添で書いてもらった方が良く思う。
- ・個人情報との関係で、配布は F A X でもよいが、記入後の届けは郵送か手渡しにした方が良い。

2. 各事業所の就労の取り組み発表 (はびねず より報告)

- ・支援内容、ハローワークへの同行等、就職までトータル的にサポートをしている。情報収集としては、主に新聞の折り込みチラシ、ハローワーク。
- ・担当している範囲は 4 市 3 町、職員 6 名でまわしている。
- ・登録車数、1200 名。
- ・年間相談件数、約 4000 件。年ごとの登録者数は 100 人。相談件数の障がい種別では精神障がい者が増えている、精神の方は登録全体の約 7 割。
- ・ケースワーカー、ドクター等、多くの関係機関と協力しながら支援している。
- ・企業就労してゴールではなく、継続して働いてもらうことを目標にしている。87%の人が就職してから 1 年間継続できている状況。継続していくには、障がいのある人の周囲の理解も必要と考えている。本人や、周りの人の S O S を察知して対応していくことが大切と考えている。

【意見交換】

- ・就労関係の情報誌を見て、はびねずに来る人もいるか。

*割合的には少ないが、時々ある。

・登録して、暫く就職活動されてない人への対応はどうしているのか。

*他のセンターでは、3年以内をメドに、ハガキを出したり電話をしたりしている。はびねずとしては、1年、2年先に働きたいという方には、少し近くなったら来てくださいと伝えている。また、朝起きれなくなっている方は、デイを紹介したりしている。精神の方は、医師に診断をしてもらい、医師の判断をもらいながら支援をしている。対応内容については、引き続き検討が必要と考えている。

3. その他（他の障がい者自立支援協議会状況、情勢の共有、連絡事項 等）

・山城北圏域の就労部会は2つの柱で動いている。

*2016年11月11日にフォーラムを実施した。障がい者を雇用している企業にシンポジストとして参加してもらった。また、実施したいと考えている。

*放課後ジョブについて。授業の終了後、1時間、仕事の体験をする。宇治市障がい者自立支援協議会の働く部会が中心になって、次年度実施に向けて動いている。城陽市や八幡市にも普及していけたらと思う。宇治支援学校は高等部しか就労体験をしていないので、小学部・中学部の段階から受け入れ体験をし、企業、障がい者の双方の連携を深めていくことを目的にしている。

・城陽市保護課へのインターンシップにむけて

*1月～3月は、議会や、異動との関係で実施が難しい。来年度実施にむけて計画をしていきたい。

・次回の就労部会にむけて①インターンシップパンフレットの配布にむけて、企業のリストアップ、訪問マニュアルの提案、アンケート集約 等 ②インターンシップ状況及び情報提供 ③各事業所の取り組み発表（宇治支援学校）④その他

※配布資料添付のこと

次回開催日：2017年2月1日